会　議　録

会　議　名	第６回森岡地区拠点施設基本構想・基本計画検討委員会	
開 催 日 時	令和８年 10 月１日(木) 午後１時 30 分から午後２時 10 分まで	
開 催 場 所	東浦町役場　西会議室１	
出　席　者	委　員	小松尚氏（委員長)、鈴木賢一氏（副委員長)、榊原政策課長、中村財政経営課長、山本防災課長、村上ふくし課長、筒香学び支援課長、新家子育て支援課長、青木教育課長、岩本教育課主幹兼指導主事、前床住民自治課長、淺田環境課長、戸田都市デザイン課長、川瀬建築施設課長、田中建設企画課長
	事務局	政策企画部　鈴木部長、鈴木次長 財政経営課　中村課長（兼務)、久野課長補佐兼係長、稲丸主事
欠　席　者	内田人事課長、静間土木管理課長	
議　　題 (公開又は非公開の別)	１ あいさつ ２ 基本計画について	
非公開の理由 （会議を非公開とした場合)		
傍聴者の数	２名	
審 議 内 容 （概　要）	・政策企画部長から挨拶 ・委員の出席及び会議の成立を確認 ・傍聴者の確認 議題の審議内容は、下記のとおり	
備　　考	―	

１　あいさつ（公開）
鈴木政策企画部長より挨拶。

２　基本計画について（公開）

事務局より基本計画（案）の変更、追加内容について説明し、意見交換を行った。

◇委員長
まずは、資料２の意見対応としてご了解いただけたか、また、その他の検討すべき内容の漏れがないかについて、ご意見いただきたい。
私からは、P.42 の学校と地域の共用に関して、「学校教育に支障のない範囲で」という表現がされているが、学校と地域の共用を進めるにあたっては、従来の枠組みにとらわれず、新たな取組を積極的に検討していくポジティブな視点が重要である。学校教育の維持だけではなく、同一施設となることで生まれる相乗効果について、学校と地域の双方の視点から検討を深めるべきである。そうした視点がなければ、面積縮減やコスト削減のみを目的とした計画との受け止め方になりかねない。具体的な取組については今後の検討になると思われるが、地域全体で子どもたちを見守り、子どもたちの存在が地域の活力につながるような施設を目指す姿勢が重要である。そのためには、まず行政内部でその考え方を共有するとともに、地域住民にも理解を深めてもらえるよう、継続的に取り組んでいく必要がある。

◇委員
歴史を刻んできた学校がなくなってしまうため、記念樹やモニュメント等が現在の学校にあるのであれば、継承していくというような配慮があるとよいのではないか。

◇委員長
学校は地域の DNA である。実施できること、できないことはあると思うが、そうした歴史や記憶を尊重する姿勢を示すことで、住民の理解や協力を得やすくなると考える。

◇委員
「祭りやイベント時の臨時駐車場の確保を見据え」と書いてあるが、イベント時には、近隣で駐車場を確保するという解釈でよいのか。

◆事務局
イベント時には、他地区の町施設や民間施設等でパークアンドライドを利用してもらうことも見据えている。現在設定している駐車場台数は、通常利用時で必要な台数を想定したものである。

◇委員
まちづくりの観点からは、ここで何がしたいかを「ビジョン」と表現しており、そこでどんな町や未来にしたいかを実現する「コンテンツ」という形で整理している。委員長がおっしゃっていた内容もビジョンやコンテンツとして計画に含めていけたらよい。また、土地区画整理事業により田んぼやブドウ畑の景色が失われてしまうため、シビックプライドの醸成を目的に、まち納めイベントを検討している。学校についても、「ここはかつてこのような場所だった」という地域の記憶を継承していけるとよい。

◇委員長
P.44 からの事業手法について、ご意見やご質問はあるか。
合計何社程度にヒアリングを行ったのか。

◆事務局
10 社程度確認した。

◇委員長
ヒアリング結果は、民間事業者としての意見であると思うが、計画の内容を詰めていく過程においては、多くの人の意見を取り入れながら進めていくことも重要である。従来手法では地元の意見や学校関係者の意見の汲み取りが一般的に行われてきたが、民間主導の事業手法を採用する場合に、そういった方の意見の汲み取りをどういう形で実現していくかを、今後検討していく必要がある。

◇委員長
スケジュールについて、2028 年度からの記載であるが、2027 年度には何らかの進展があるのか。

◆事務局
区画整理組合の設立が今年の 12 月であるため、その後計画の具体化を踏まえて、2028 年度から導入可能性調査を行っていく。2027 年度には、東浦中学校・東浦文化広場の導入可能性調査を進めていくため、業務量のバランスもとることができると考えている。

◇委員
民設民営の保育園の敷地面積について見通しはあるのか。

◆事務局
所管課とも調整をしており、3,700 ㎡程度を確保する予定である。

◆事務局
最後に、午前中に実施した東浦中学校・東浦文化広場基本計画の検討委員会での意見を受けて、森岡地区拠点施設基本計画でも併せて修正・変更する点についてご報告する。
- P. 20：屋外空間の設定について、緑化や日陰の創出等の猛暑対策についても記載を追加する。
- P. 33：P. 36 にも同様に「周辺への配慮」の項目があるため、配置に関する配慮と施設のあり方に対する配慮として、明確に書き分ける。
- P. 35：5)に気候変動に対応した屋内空間での過ごし方に関する考え方を追加する。
- P. 36：ユニバーサルデザインとインクルーシブデザインについて、その違いが分かるように表現を工夫する。
- P. 43：施設全体の管理組織は民間に委託する可能性もあるため、「(行政組織)」という文言を削除する。

◆事務局
次回の検討委員会は２月頃を予定している。詳細については、別途案内させていただく。